



グローバル探究ライフ

コンフォートゾーンから飛び出すことで、学校生活ではできない出会いや体験ができるのが留学。その経験者たちに、リアルな留学ライフと気持ちの変化について語ってもらうシリーズです!

File No.8



山下優貴さん (19歳)
佐久長聖中学・高校 (長野・私立) 卒業

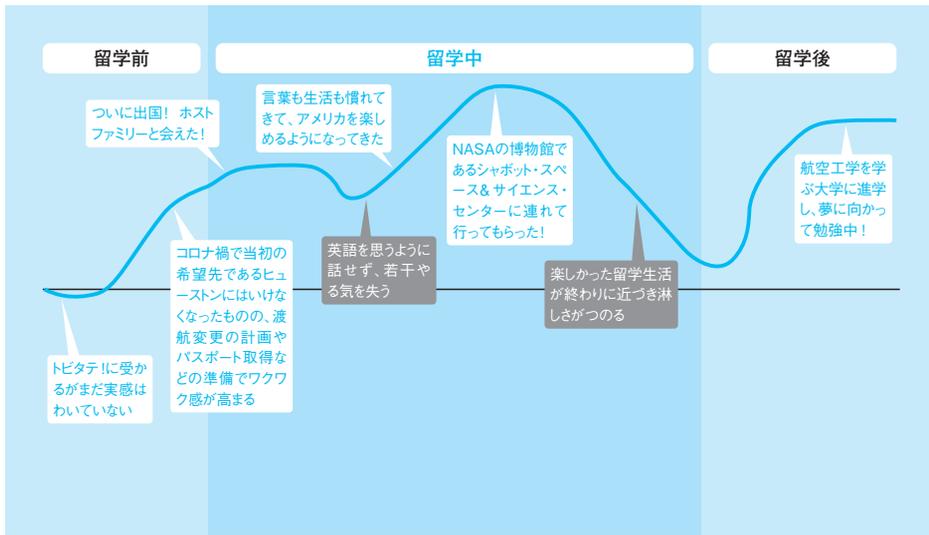
同郷出身の油井亀美さんの影響で宇宙飛行士になるのが夢。宇宙飛行士を目指す職業として医者とパイロットで迷っていたが、留学を通してパイロットを決意。現在はその道をすすむべく、大学で航空操縦学を学んでいる。

「今しかできないことが力になる」と先生が言ってくれた

私の夢は宇宙飛行士。宇宙飛行士は世界の代表であり、日本の代表です。トビタテ!で留学を目指したのは宇宙飛行士に必要な語学力やコミュニケーション力をつけたかったからです。トビタテ!へのチャレンジを通じて、日本の代表に選ばれるために必要な経験ができたと思います。

合格はできたものの、コロナ禍で渡航が何度も延期になり、可能になったのが3年生になってから。受験準備やコロナの状況で、家族も心配しましたが、自分はコロナに負けたくなかったし、選ばれた機会を逃したくなかった。そのときに担任の先生が「留学は必ず君の力になる。大学入学後は留学できる環境があるかわからない。今しかできないなら今行け!」と言ってくれたのです。

留学中の体験はもちろん、応募時の志望理由書の作成、面接、渡米する空港で見かけたパイロットの方々の姿など、トビタテ!に関連する経験のすべてが、目標を再認識し、意欲を高めることにつながりました。



DATA

【留学した年齢】
17歳
【留学した国】
アメリカ：カリフォルニア州
【留学期間】
高校3年の5月から約3週間

【留学内容】
語学研修

【留学しようとおもったキッカケ】

母校は「トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム」*の経験者が多く、学校での説明会に参加して。

*「トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム」(以下、文中では「トビタテ!」)とは文部科学省が官民協働で留学促進を展開するキャンペーンによる留学支援制度。

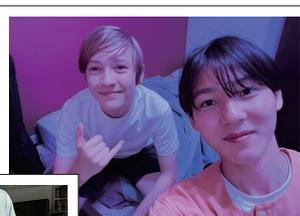


ホストファミリーは本当にいい人たち。家族の一員として近所のプール清掃にも一緒に参加した。

監獄島で有名なアルカトラズ島にも行けた!



日本文化を伝える活動で、得意な書道をホストファミリーに指導。自分の書を家に飾ってくれた。



1歳下のホストファミリーの息子さんが、データサイエンティストになる夢に向かって学ぶ姿に刺激を受けた。

NASA関連の展示をするシャボット・スペース&サイエンス・センターへ。宇宙飛行士へのモチベーションがアップ!



「機械やトラクターが好き」と伝えたら、ホストファミリーが見に連れて行ってくれた。



実際に宇宙飛行士が着用した宇宙服と対面!

職業体験のボランティアでも、トラクター好きなどを伝えていたら、トラクター整備をさせてもらった。

